

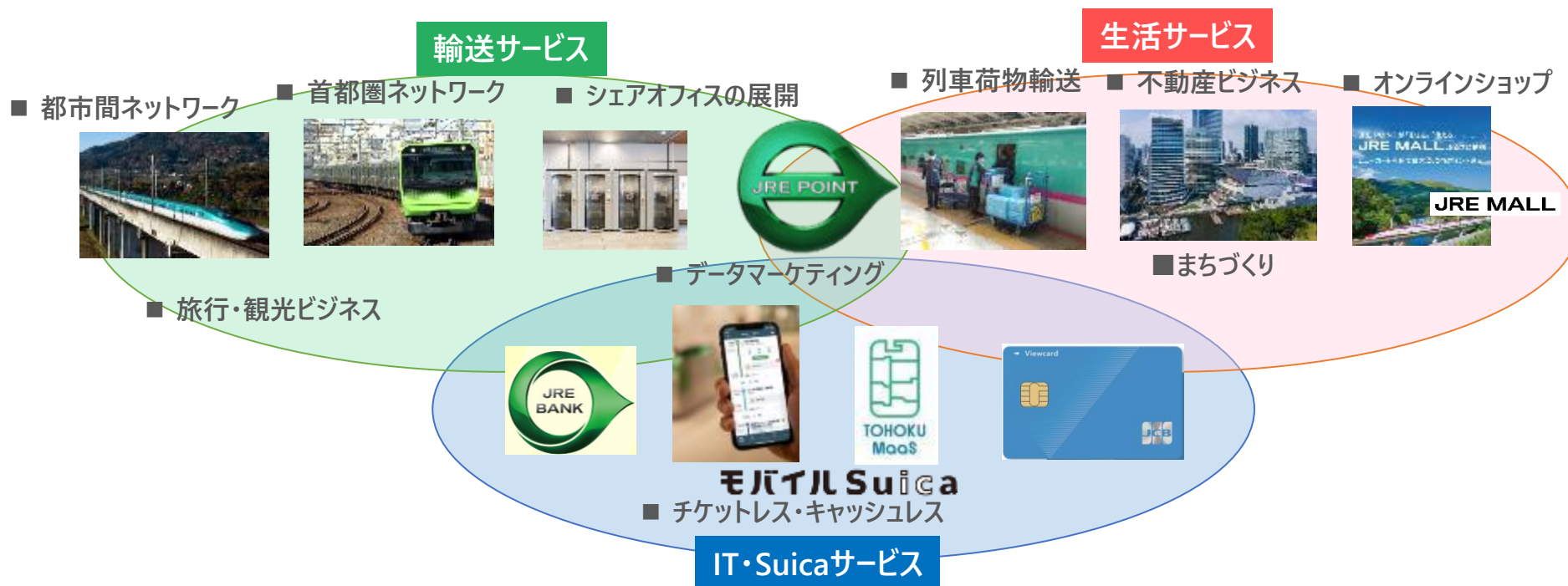
Suica・金融ビジネス ~Suica Renaissance~

2025年3月18日
東日本旅客鉄道会社
Suica・金融ビジネス長
小古井 章

- 1 Suicaの現状
- 2 Suica Renaissanceに向けた布石
- 3 中長期ビジネス成長戦略「Beyond the Border」とSuica Renaissance

1 Suicaの現状

- ✓ Suicaは決済・金融といった単体での利益創出ではなく、こうした機能を通じて、輸送サービス・生活サービスとのシナジーを創出することにより、グループ収益・利益の向上、クロスユースを促すハブとして位置付け



チケットング・決済に留まらず
リアルビジネスに広くまたがる**ハブ**として機能

Suica	交通利用	電子マネー利用
発行枚数 11,231万枚 モバイル Suica 3,347万枚	JR東日本 利用可能駅：931駅 利用率：約9割	利用可能店舗数 207万店舗
全国交通系ICカード 9のカードブランド (Suicaを除く) 	鉄道 約5,000駅 バス 約50,000台	利用件数 月（最高） 3.1億件 日（最高） 1,153万件

ユーザーエクスペリエンス（UX）

障がい者用Suica▼
モバイルSuica通学定期券（中学・高校生対応）▼
楽天ペイとの連携(iOS)●

ビュー・スイカ●

●Suicaグリーン券

モバイルSuica特急券●

J-Coin Pay/Suittaとの連携●

au PAYでのSuica(Android)●

●Google Pay・みずほWalletでのSuica

●タッチでGo!新幹線

新幹線eチケット●

楽天ペイでのSuica (Android) ●

オートチャージ●

Apple PayでのSuica▼

Android™スマホ対応▼

電子マネー▼

モバイルSuica▼

2001

2004

2006

2007

2011

2013

2016

2018

2020

2022

2023

▲首都圏424駅でサービス開始
(ストアードフェア、定期券)

▲首都圏相互利用

▲全国相互利用

北東北3エリア導入▲

▲地域連携ICカード導入

●タッチでエキナカ

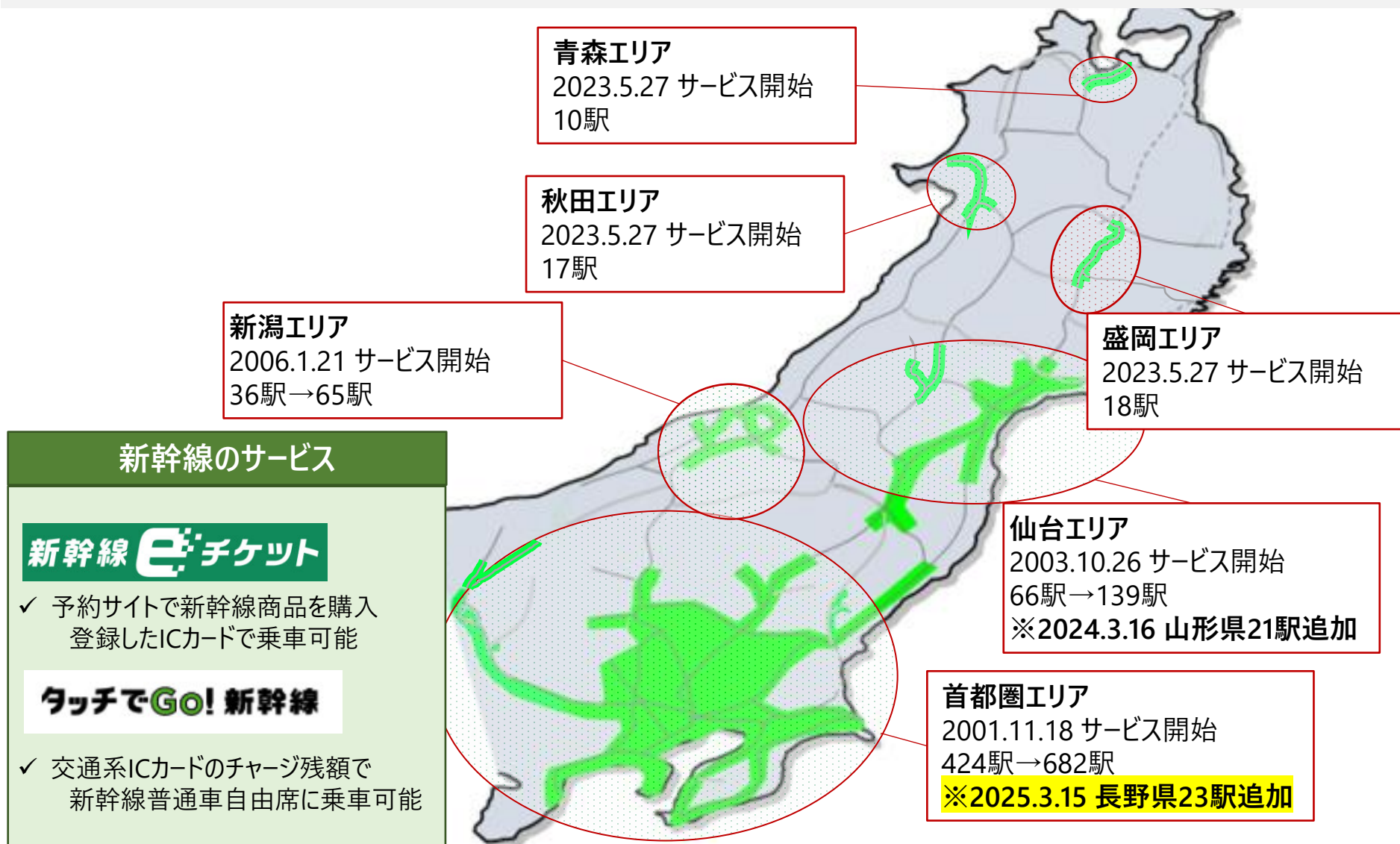
アクワイアラと連携した電子マネー加盟店の拡大

使用可能エリア

1-③ Suicaエリアの拡大（都市中心のチケットングから都市間移動の実現）

6

- ✓ Suicaの利用可能駅は2025年3月15日の長野エリア（23駅の）拡大で、合計931駅に
- ✓ 新幹線eチケットや、タッチでGo!新幹線と合わせて、エリアをまたがるシームレスな移動を実現



1-④ 個客の生活への浸透（日常の様々なデバイスへの拡大）

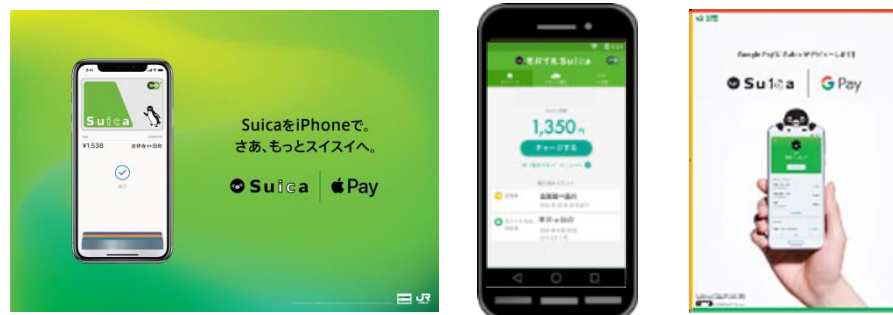
7

- ✓ 様々なデバイスでのSuicaサービスの実現を通じて、生活の中に深く浸透
- ✓ 当初困難だった、障がい者サービスや、モバイルSuicaでの通学定期の実現を通じて、ユニバーサル化を加速

●Suica



●モバイルSuica



●多機能Suica

Suica付学生証・社員証



Suica付ビューカード



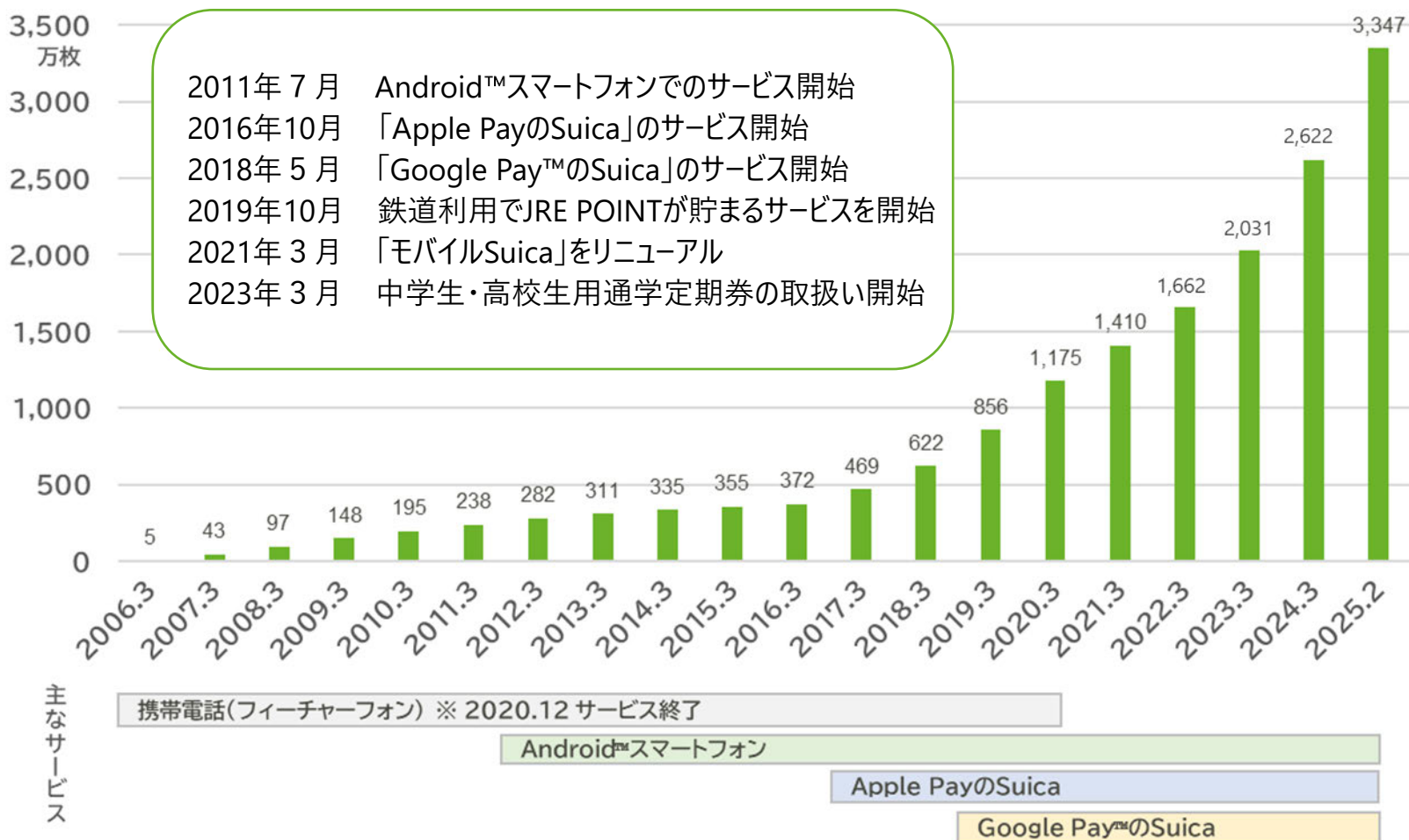
●ウェアラブルデバイス

➤ Apple Watch（2016年～） ➤ GARMIN（2020年～） 等



- ✓ 2006年よりサービスを開始し、Apple PayでのSuicaサービス開始により利用者がさらに増加
- ✓ 中学生・高校生用通学定期券の取り扱い開始により、ユーザーの獲得の低年齢化を加速

モバイルSuica 発行数の推移 (2025年2月現在)



- ✓ 他社が参入不可能な独自のポジションを活かして、他社サービスの個客の生活にも深く浸透



2018年8月1日～



2020年12月9日～



2022年3月22日～



2024年2月13日～

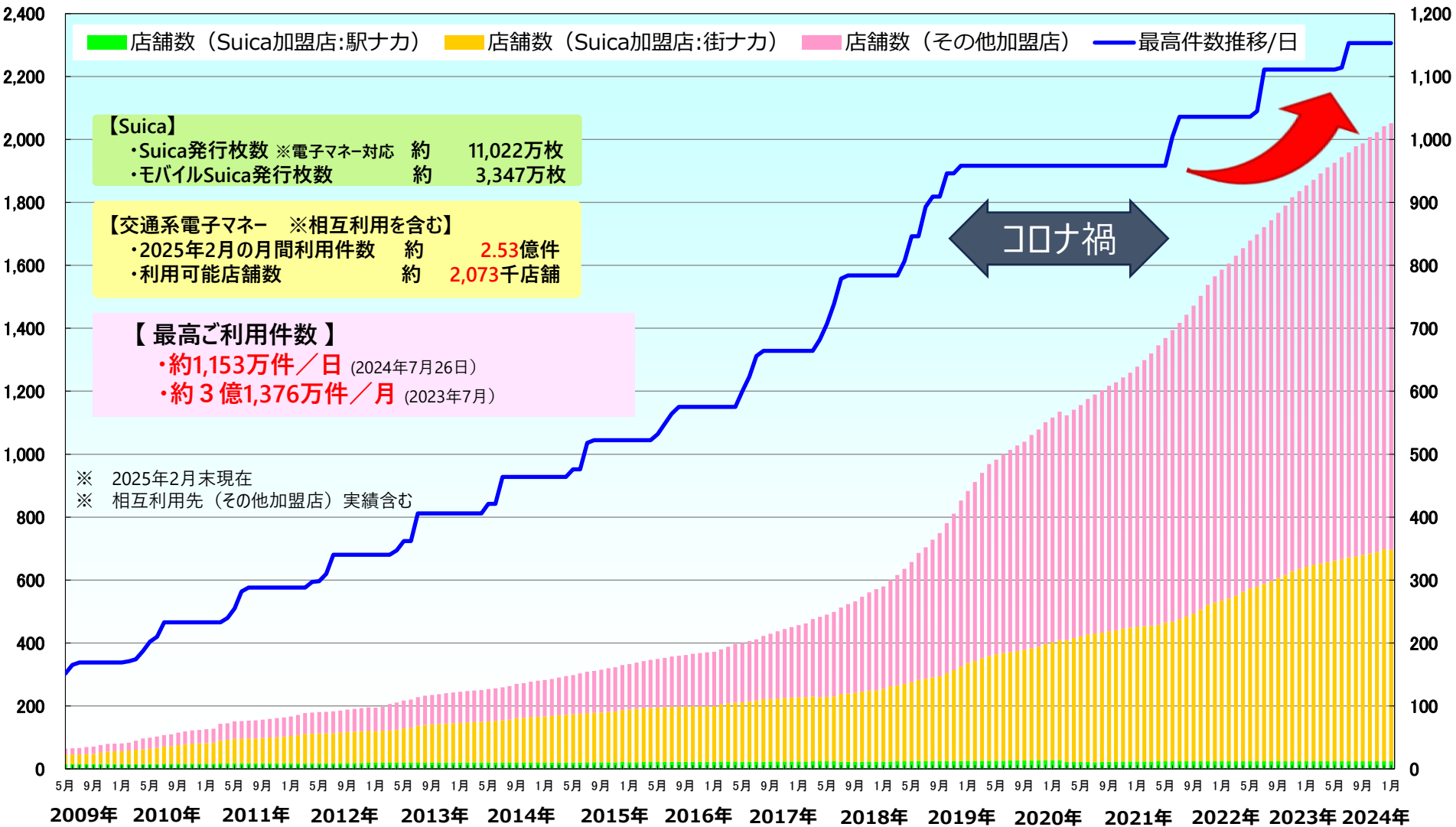


2025年1月15日～

- ✓ 交通系電子マネーは、2024年7月に月間利用件数3億件突破し、着実に利用を増やしている
- ✓ また、利用可能店舗数も2024年11月で200万店舗を超え、利用箇所も拡大している

(利用可能店舗数:千店舗)

(1日当たり最高利用件数:万件)



2 Suica Renaissanceに向けた布石

2-① ご当地Suicaに向けた布石（地域連携ICカード）

12

地方圏にはICカード未導入の
バス事業者が多く存在

地域交通の乗車券機能とSuicaの基本機能を
1枚のカードに共存させる地域連携ICカードを展開

地域交通事業者のIC乗車券導入の推進と、
地方におけるSuicaのインフラを拡大

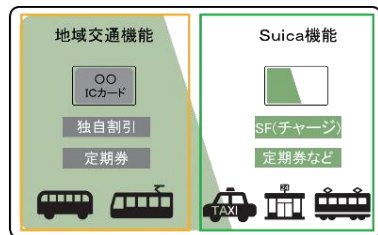
地域交通事業者

ICカードシステムをローコストで導入可能

お客さま

地域公共交通と、Suicaのサービスが
1枚のICカードで利用可能

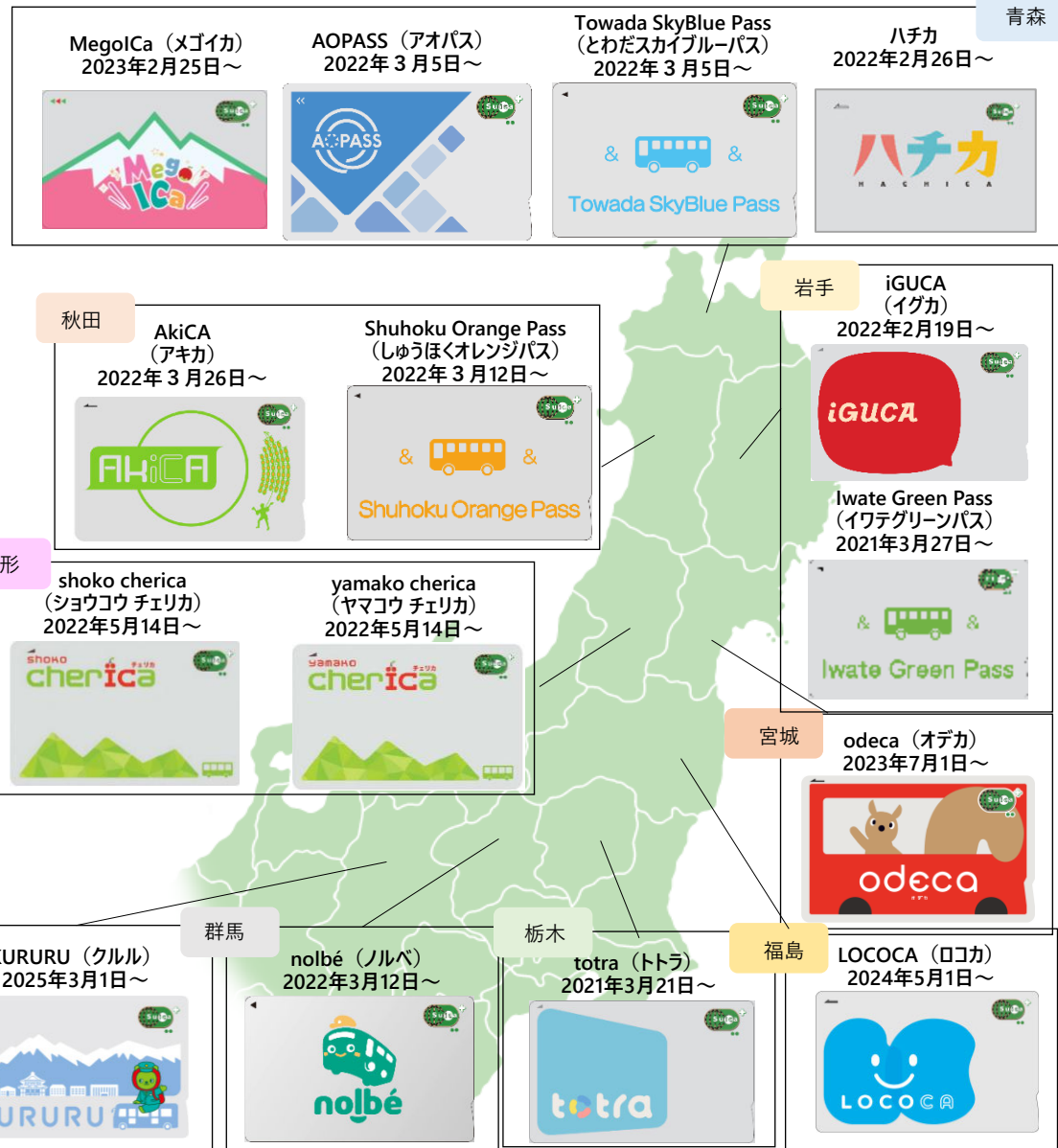
地域連携ICカードの利用イメージ



地域公共交通の
さまざまな
サービスをカバー

Suicaとして、
全国の鉄道、バス、
加盟店で利用可能

15カード 37事業者
約3,000車両に導入
(2025年3月時点)



- ✓ 2022年度はデジタル庁「デジタル田園都市国家構想推進交付金」の採択を受け、前橋版MaaS「MaeMaaS」を群馬県域への展開を目的に、群馬版MaaS「GunMaaS」としてリニューアルしてサービスイン
- ✓ 2023年度はデジタル庁「デジタル田園都市国家構想交付金」に加え、国交省「マイナンバーカード活用型交通サービス導入支援事業」の各採択を受け、一般路線バスや商業施設において、Suica1タッチで事前に登録したマイナンバーカードの属性認証と、認証結果に基づく割引決済の機能を開発中



○ **Suica認証情報提供サービス**（※）により、Suicaをデジタルキーやチケット等として活用

（※） SuicaIDを変換処理し安全にご利用いただくサービス



【Suica認証情報提供サービスの強み】

● 安全性

SuicaのIDをセキュアな形に変換するため
公式なサービスとして安全に利用可能

● わかりやすさ・扱いやすさ

SuicaID番号を事前にオンラインで登録可能
⇒ 現地でSuicaの登録不要で即時にサービス利用可能

交通系IC乗車券や決済以外の日常生活のさまざまなシーンで利用を拡大

活用事例① Suicaを入退室の鍵として利用できる「Suica スマートロック」をホテルの客室キーに採用（2023年1月～）

・当社グループの「ホテルB4T」で導入
・ホテルの予約からチェックイン、チェックアウトまでの手続きが、スマートフォンとSuica等の交通系ICカードで完結。客室キーとしてお手持ちのSuicaが利用可能。



活用事例② 東京ドームの完全キャッシュレス化に合わせて、Suicaによる入場システムを導入（2022年3月～）



Suica認証情報提供サービス
導入企業様向けに、
オリジナル券面Suicaを
作成できるサービスも開始

- ✓ 2025年2月末時点の口座申し込み数は約50万口座に到達
- ✓ 新たなビジネスへの参入によってモバイルSuicaやえきねっとの会員も増大
- ✓ クロスユースの加速とデータ活用を通じて、LTVを向上させていく

Step 1 ▶▶

口座獲得 & 会員獲得による収益貢献

Step 2 ▶▶

JRE POINT生活圏へ取り込み

Step 3 ▶▶

データマーケティング

特典の魅力で誘因



★新規入会

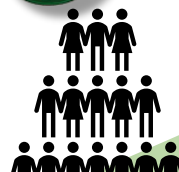
★新規入会

★引落口座化

★給与受取



LUMINE



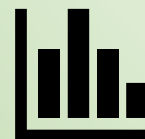
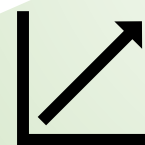
えきねっと

JR東日本ホテルズ

S-PAL



100万口座



クロスユースの加速
※サービス開始4ヶ月実績
(モバイルSuica・えきねっとは3ヶ月)

JRE POINT会員 + 4.4万人

ビューカード会員 + 4.4万人

モバイルSuica会員 + 2万人

えきねっと会員 + 2万人

3 中長期ビジネス成長戦略「Beyond the Border」とSuica Renaissance

- ✓ グループ全体で個客の移動の目的（地）となる高いライフ・バリューを創造
- ✓ デジタルプラットフォーム（Suica）で顧客と様々な生活上の目的（地）をつなぐことで、東京圏と地方において重層的でリアルなネットワークの価値を継続して向上させていく



- ✓ 駅（鉄道）の利用者を消費者に変えたエキナカ、駅ビルの展開を、Suicaを軸にデジタルでも実現する
- ✓ Suica利用の個客を、グループ内の様々な事業、新たなビジネスに、最適化されたコミュニケーションを通じて送客し、LTVを最大化する

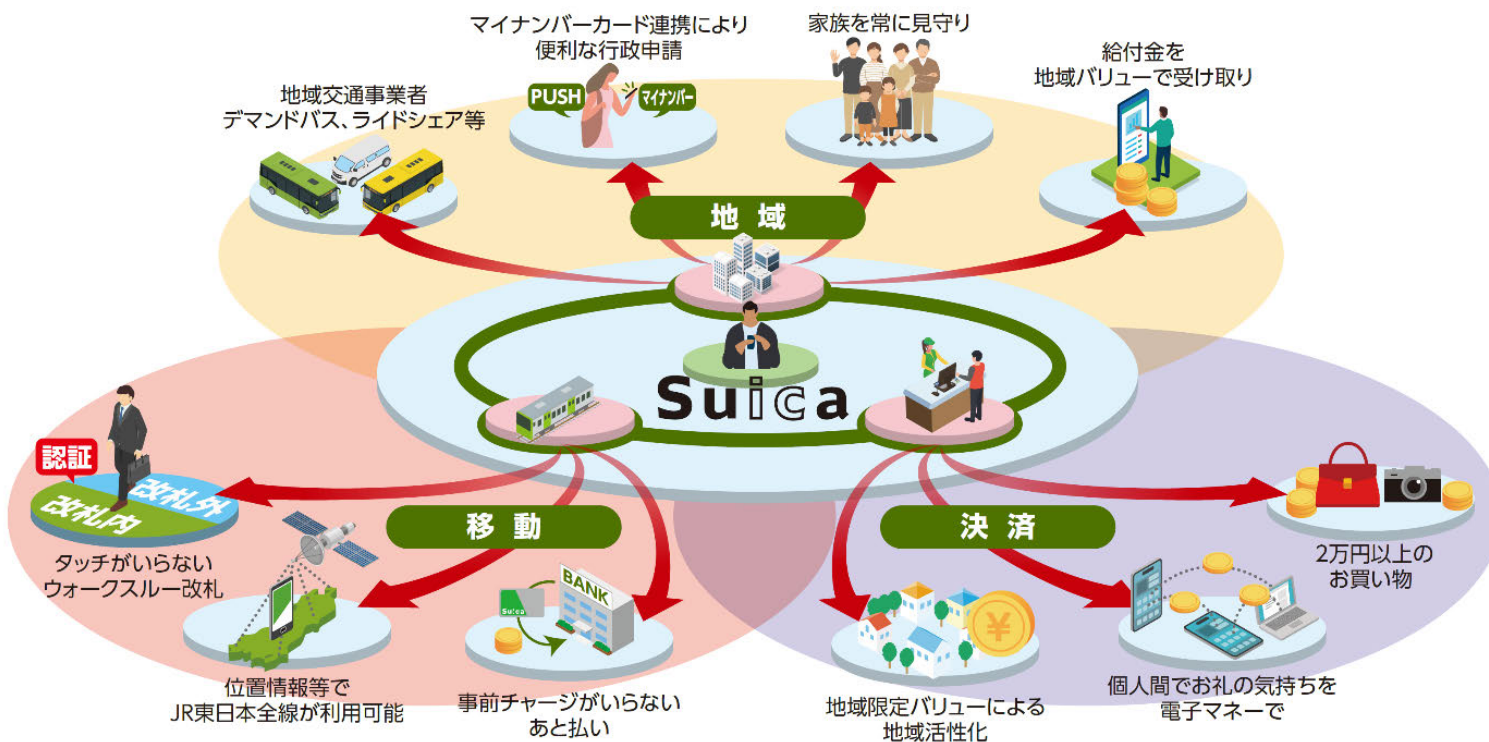
DXによる個客との接点強化



- ✓ 「Beyond the Border」で掲げた「移動のデバイス」から「生活のデバイス」を加速させる構想
- ✓ Suicaの今までの当たり前を超えて、「移動」、「決済」、「地域」といった三軸にて心豊かな生活を創る

当たり前を超えて、心豊かな生活を創る

情報の活用により地域社会が豊かに

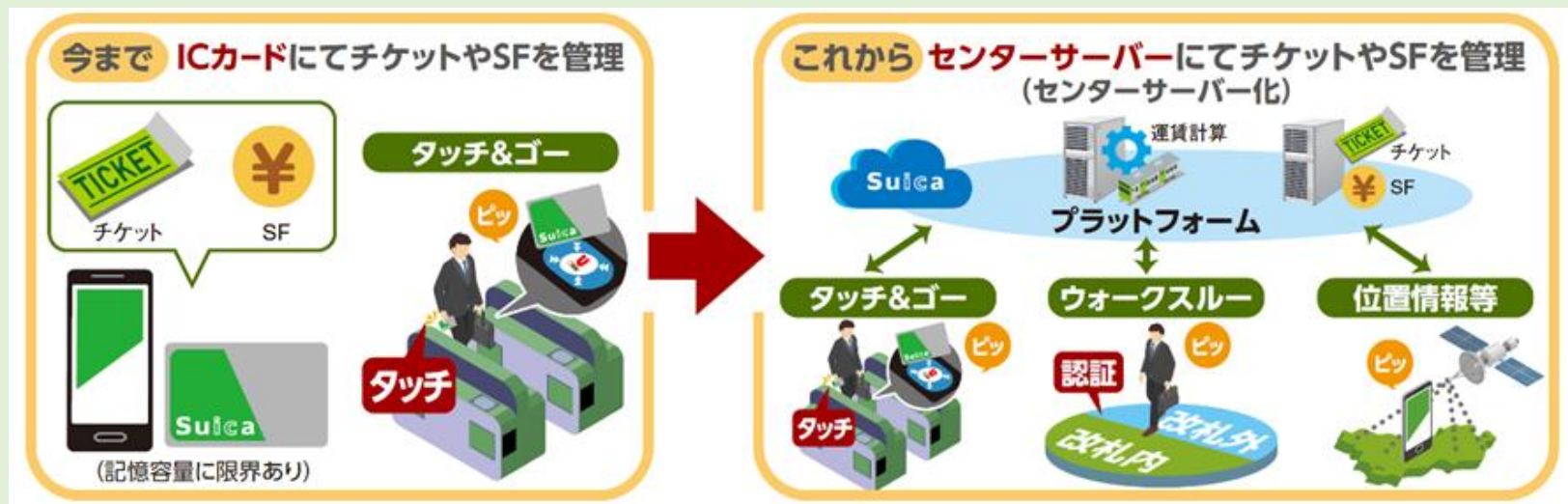


ヒトの移動により都市と地方が豊かに

バリューの流通により地域経済が豊かに

- ✓ チケットやSFをセンターサーバーにて管理する「センターサーバー化」により、今までの当たり前である、**固定的な鉄道利用、改札タッチ、Suica利用エリア、事前チャージ、少額決済**を超える

○ キーとなるテクノロジー「センターサーバー化」

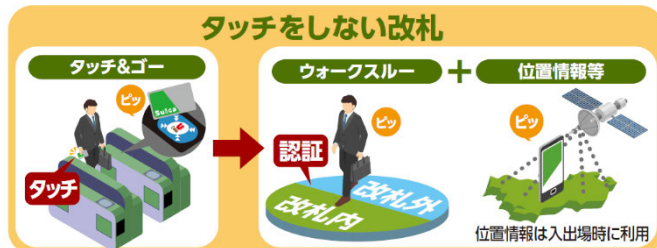


○ 固定的な鉄道利用 → 新しいサービス



- 以下の新しいサービスを**2028年度**に実施
- 新しい**サブスク**を実施し、**定期券という当たり前を超える** (たとえば、月額制で大宮駅を起点として50%割引など)
- 新しい**鉄道クーポン**により、鉄道の日などの記念日の移動の創出、駅ビルのお買い物でのリワードによる売上向上などを図る

○ 改札タッチ → タッチをしない改札



- ・ 将来的に改札にはタッチが必要という概念を超える
ウォークスルー改札：都市部など流動の多い駅を対象
位置情報等を活用した改札：改札機がない駅を対象

○ Suica利用エリア → 当社全線Suica利用可能

JR東日本全線でのSuicaのご利用



- ・ **2027年春頃**に首都圏（長野含む）、仙台、新潟、盛岡、青森、秋田の**Suicaエリア**を統合（上野駅から仙台駅まで常磐線にてSuicaでご利用可能）
- ・ **2027年春頃**にSuica未導入エリアにて「**スマホ定期券（仮称）**」をモバイルSuicaで発売（Suicaエリアでは改札タッチ、未導入エリアでは見せて通る運用）
- ・ 将来的には位置情報等を用いた改札により、**当社全線Suica利用可能**

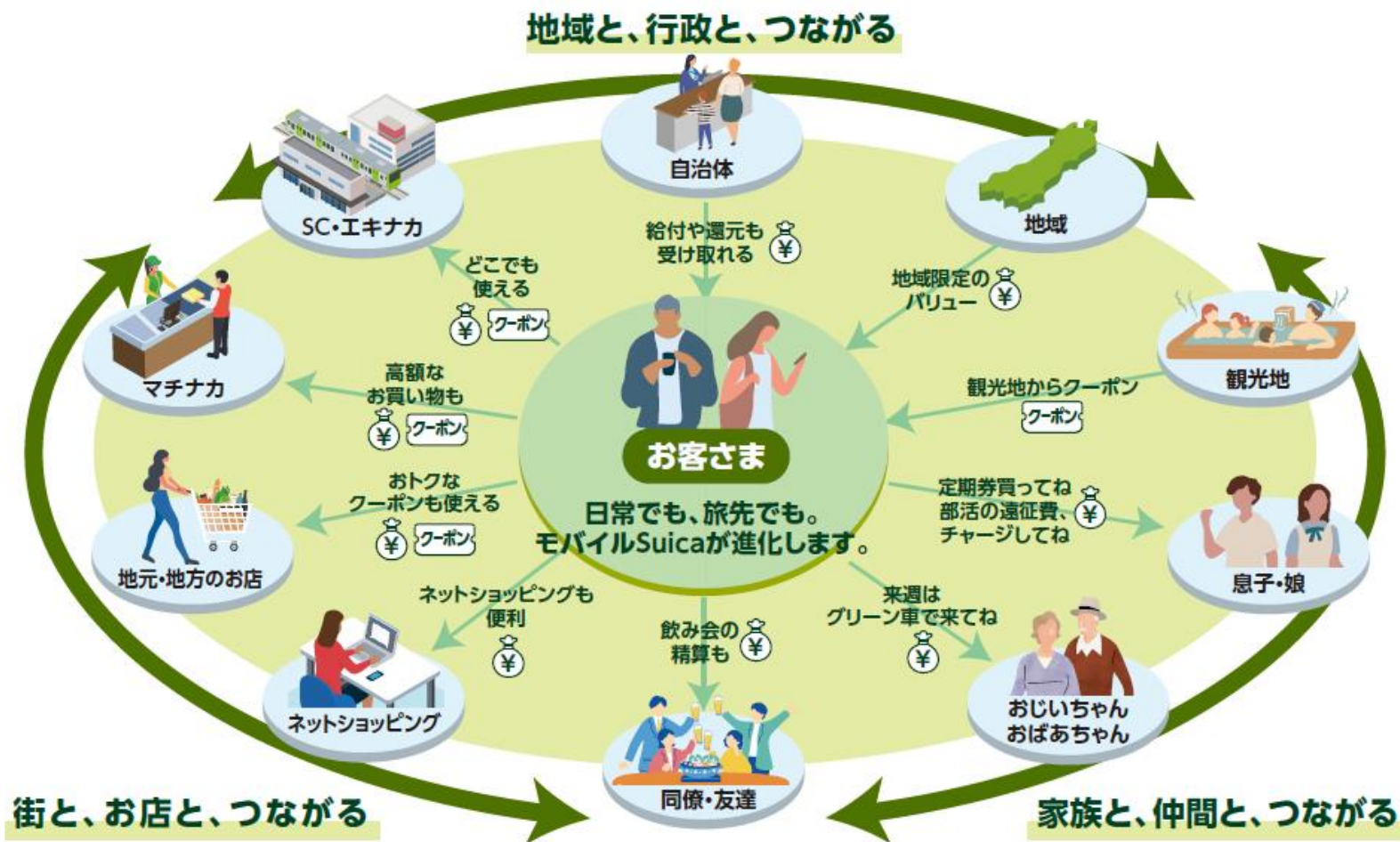
○ 事前チャージ → あと払い

あと払い



- ・ SF機能に加えて、将来的に**あと払い**を追加
- ・ Suicaとお客さまのクレジットカードや銀行口座と紐づけることにより実現

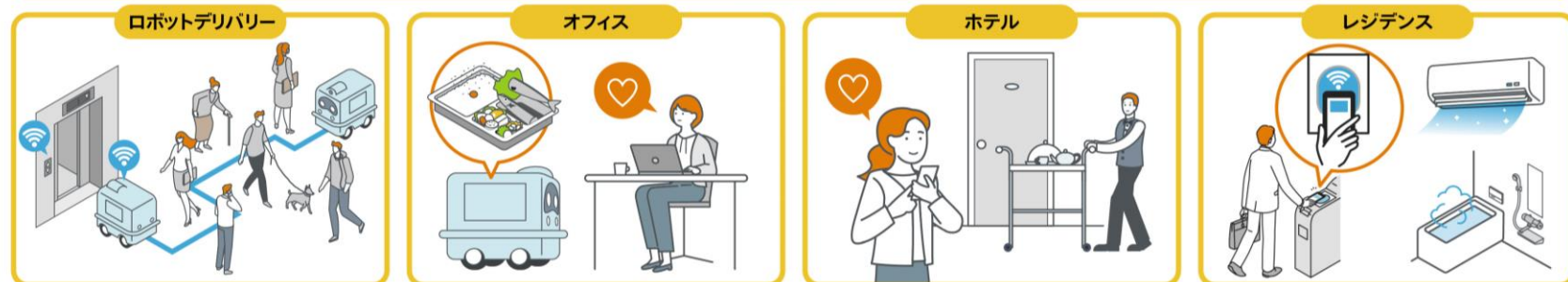
- ✓ 2026年秋頃、モバイルSuicaアプリを大幅にリニューアルし、Suicaならではの簡単 & 便利なタッチ決済に加え、Suicaの上限額（2万円）を超えるお買い物にもご利用いただけるコード決済機能、電子マネーを送る&受け取る機能、クーポン機能、地域限定のバリューの発行など、様々な機能が追加される



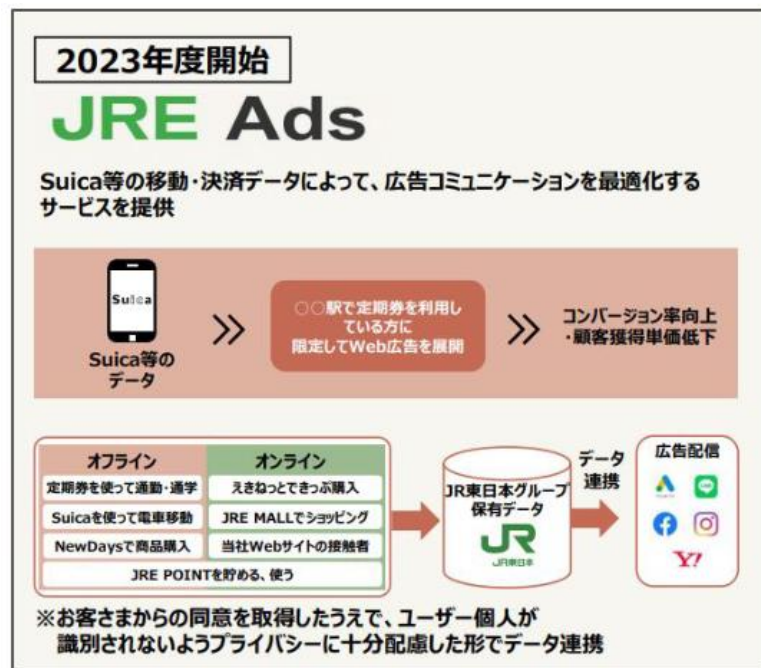
- ✓ データを活用したくらしを豊かにする様々なサービスを展開
- ✓ 3月27日にまちびらきを行う「TAKANAWA GATEWAY CITY」で「TAKANAWAイノベーションプラットフォーム(仮称)」として実装する



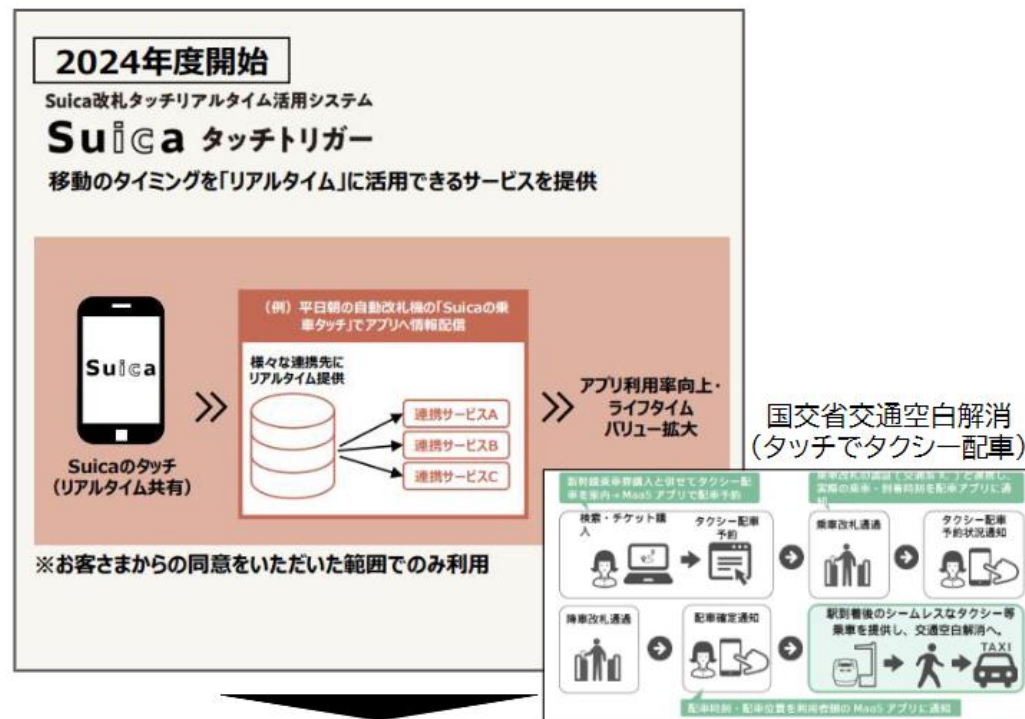
上記によって提供されるサービス例



- ✓ Suicaリテールメディアの実現に先行して、移動データ等のデジタル広告活用「JRE Ads」及び移動のタイミング（リアルタイムデータ）提供「Suicaタッチトリガー」の2サービスを、広告クライアント向けに開始



2024年度のG内外取扱高3.4億円（25年1月末時点）
グループ外取扱高については対前年400%超で成長中



TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ、国交省交通空白解消（タッチでタクシー配車@高崎）等で活用開始

- ✓ SuicaやJRE POINTを通じて集まるデータを顧客の行動パターンに基づく「コンテンツの最適化配信」や、「顧客の移動のタイミング」に活用することで、精度の高いコミュニケーションを実現するリテールメディア「Suicaメディアネットワークの構築」を進める
- ✓ 「Suicaメディアネットワーク」の活用を通じて、駅周辺を含めた駅商圈におけるSuica決済の地位を高める

顧客属性/利用状況に応じて商材を最適化配信



適切なタイミングで買い時情報をお知らせ



加盟店・代理店が広告効果を一気通貫で分析し改善可能に

○ 各地域に根差した新しいSuicaを創る

- ✓ Suica、MaaS、地域連携ICカード、行政サービス・地域コンテンツをまとめた「ご当地Suica（仮称）」を提供し、地域がかかえる課題を解決
- ✓ Suicaアプリ（仮称）をベースにマイナンバーカード連携(住所情報等を連携)を行い、地域ごとのコンテンツ・サービスの切替を可能とする

地域自治体・地域社会等のコンテンツ、サービスを付加



○ お客さまの生活に徹底的に根差したSuicaを創る

- ・ 移動や生活シーンにてSuica利用データを活用した「おもてなし」、「お気遣い」サービスを実現する

おもてなしサービス： Suicaの入場・出場等のリアルタイムデータを活用し、新幹線が到着したら、タクシーが駅で待っている、帰宅時に自動的にお風呂が沸いているなどのサービスを提供する

お気遣いサービス： Suicaの蓄積されたデータを分析し、お客さまの健康状態に合わせた食事をレコメンドするなどのサービスを提供する

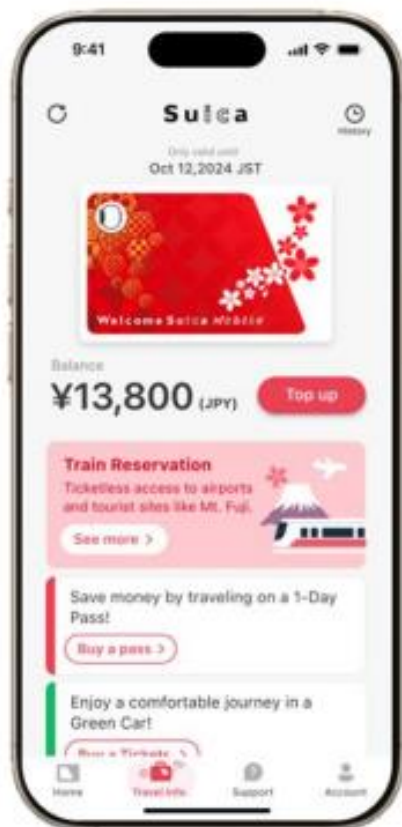


○ お客さまの生活に徹底的に根差したSuicaを創る（想定ユースケース）

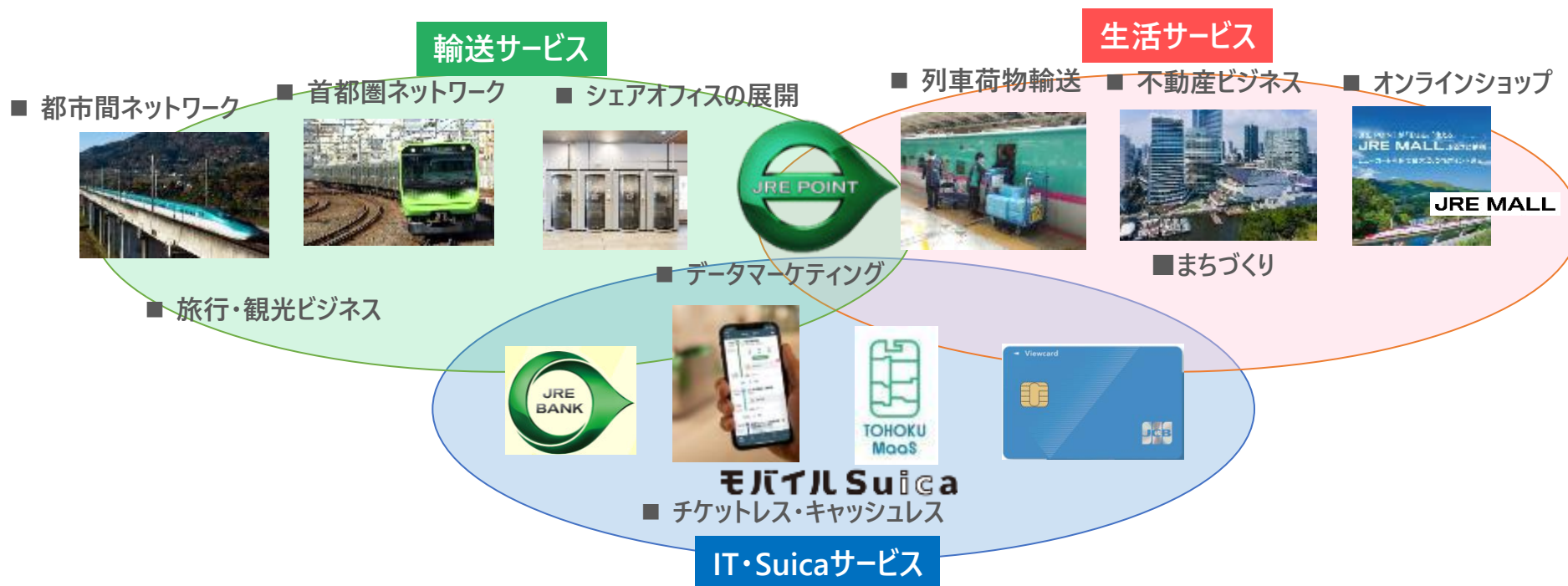


○ 訪日外国人がシームレスにご利用できるSuicaを創る

- ✓ 2025年3月6日にリリースしたWelcome Suica Mobileで、2025年秋には「新幹線eチケット」、「在来線特急のチケットレスサービス」、さらに2026年春には「普通列車グリーン車」をご利用できるようにする
- ✓ 将来的にはWelcome Suica Mobileにてウォークスルー改札、当社全線Suica利用を実現し、海外のお客さまに新たな体験を提供する



- ✓ 輸送サービス・生活サービスとのシナジーによる当社グループ顧客からのLTVの最大化（コングロマリットプレミアム創出のための扇の要）
- ✓ 新たなキャッシュインの創出



グループの強みを活かし、**新たな価値を創造**

- ✓ IT・Suica事業は2033年度の2倍の成長を目指す
- ✓ さらに、中長期戦略「Beyond the Border」に掲げる2033年における営業収益・利益の倍増実現に向けて既存ビジネスの成長に貢献する

